

しのめ 東雲かわら版

第8号



2013年(平成25年)10月15日発行
発行・編集:亀田東小学校区コミュニティ協議会
〒950-0195 新潟市江南区泉町3-4-5 江南区役所地域課内
TEL:383-1000(代表) FAX:381-7090



恒例行事 まち歩き

東雲ハイキングで梨の収穫体験

昨年10月27日、コミュニティ協議会交流イベントとして恒例となった、まち歩きを行いました。

今年の東雲ハイキングは、昨年同様、出発地点の東小学校正面玄関前にて受付を行った後、砂山曙町、袋津とめぐるコースで、途中、梨の収穫体験を行い、最終目的地の伊夜日子会館へと向かいました。当日は、快晴のまさにまち歩き日和。家族連れから、日頃からウォーキングを楽しんでいるグループなど参加者、スタッフ合わせて約一二〇名が約4キロのコースを歩きました。

ちょうど昼食時間頃到着となる伊夜日子会館では、恒例の豚汁の振舞いに、持参したおにぎりで食事をする風景が多く見られました。その後は、これも恒例となった地元のお店の自慢の逸品を景品に抽選会を行い、受付時にもらったハイキングの地図に付け

られた番号が呼び上げられるたびに、大きな歓声とため息が聞かれました。

コミュニティ協議会では、東雲ハイキングにより、自分たちが住む地域の歴史やまちの成り立ちを知ってもらい、これまで以上に地域に愛情を持っていただけるよう、これからも続けていきたいと思えます。



「挨拶」

会長 山崎 恵三

2年目に入りました東小学校区コミュニティ協議会長の山崎です。多くの皆様からこのコミュニティ協議会活動にご協力頂き感謝申し上げます。

平成18年よりスタートしましたこの協議会を進展的に進めるべく活動をして参りました。来年度にはコミュニティセンターが完成し、発展的活動が推し進められると考えられます。そのため自主財源も必要と考えて活動と予算について、今、役員会で検討しています。

さて、コミュニティ協議会の活動について見えていない人が多いのではないのでしょうか。コミュニティ活動は地域の子供・大人たちが繋がる場で、地域の協力と連携による暖かい人間関係のある有意義な地域づくりをめざして、自治会・町内会、民生・児童委員ほか、東小学校・亀田中学校PTA、高齢者クラブ、交通安全母の会などと共に様々な活動を行っております。

私たちが地域において、安心かつ安全に暮らすために、必要不可欠なことを認識し

ております。そのためにも、これまで行ってきた、地域の皆さんが気軽に参加できる活動と機会を今後も継続して創り出したいと考えております。

また、地域における基礎的な団体である自治会・町内会とは、これまで以上に緊密な関係づくりを進め、コミュニティ協議会活動の活性化を図りたいと思います。

今後とも、大人も子供も楽しめるコミュニティ協議会活動に、多くの皆さまからご参加いただきますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



児童館活動とコミュニティ協議会

亀田東児童館長 和氣 太一

児童館とは、子どもが「遊び」を通じて、社会性や協調性を養うと共に、健康を増進し情操を豊かにすることを目的としています。児童館という響きが小さなお子さんを連想させてしまいがちですが、対象年齢は0歳から18歳とその保護者といったように、幅広い年代の方たちが児童館を利用することができます。

児童館では、様々な年代の方たちに向けてイベントを開催しています。乳幼児とその保護者を対象とした「ひよこ広場」、幼児、小学生の工作イベントである「つくって遊ぼう!」集団で遊ぶ「遊戯室で遊ぼう!」などの定例イベントのほか、夏まつり、お正月お楽しみ会をはじめとした季節行事なども行っています。

イベントには地域の方々ボランティアとして協力していただき、夏まつりにおいても、亀田東小学校区コミュニティ協議会の皆さんと共催で開催しました。

その際、参加した子どもたちに対して、景

品として文房具を用意していただいたことで、参加した子どもたちは大変喜んでいました。今後とも地域の子どもの健やかな成長に向けて、コミュニティ協議会を始めとした地域の皆さんと連携して行きたいと思っております。



平成25年度の活動に向けて

去る5月26日、亀田東小学校区コミュニティ協議会代議員会が開催され、平成24年度事業報告及び決算、平成25年度事業計画及び予算案が承認されました。

また、一部役員体制を変えて新たに山崎会長のもとコミュニティ協議会活動を進めて行くことになりました。

今年度も、地域の絆づくりに取り組んで参りますので、地域の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

平成25年度役員体制

会 長	山 崎 恵 三	
副会長	宮 澤 信 榮	
副会長	榎 並 義 則	
事務局長	湯 田 昭 子	
会 計	渡 辺 伸 子	
監査委員	土 田 道 定 石 本 一	
防災部会	部会長 竹 田 秀 雄	副部会長 田 邊 慶 弘
子ども部会	部会長 山 口 好 子	副部会長 今 井 進
ふれあい部会	部会長 若 林 七 重	副部会長 渡 辺 啓 子
環境部会	部会長 新 保 正 廣	副部会長 赤 塚 伸 一
顧 問	江南警察署・亀田東小学校・亀田中学校・かめだ学会	

平成25年度主な事業活動予定

○「東小学校区自治・町内会長との意見交換会」の開催

地域の課題に対する共通認識を図るとともに、コミュニティ活動の活性化を進めるため、自治・町内会、PTA、学校などとの地域連携を強化します。

○区長懇談会の実施

地域課題解決に向けて、コミュニティ協議会、自治会・町内会・江南区関係各課と懇談会を開催します。

○環境美化運動への取組み

東小グラウンド脇側溝清掃やポイ捨て禁止看板等の確保・設置を通じて地域の環境美化を進めます。

○亀田中学校・東小学校等との共催事業の実施

「防災ポスター・標語」コンクールの実施 東小学校

「亀田甚句」まつりへの参加 東小学校PTA

亀田東児童館なつまつり・ふゆまつりの開催 亀田東児童館共催

おはよう朝ごはん料理講習会の開催 亀田中学校共催

地域教育コーディネーターとの連携強化

○高齢者対象の「いきいき体操教室」の開催

高齢者の健康維持のため、簡単な体操教室と茶話会を実施します。

○東雲かわら版の発行

○まちあるきの実施

自分たちの住んでいる地域の標高を測量しながらまち歩きを実施します。

○演芸会「東雲寄席」の開催

水都家艶笑さんの落語を楽しむ会を開催します。

区長懇談会での主な議題

Q. ごみの分別、マナーが悪いケースが見受けられる。

A. 間違つて排出されやすいごみ・資源物に対して「燃やさないごみの日に指定袋に出すもの」「プラスチック製容器包装の日に出すもの」と絵図入りのチラシを作成しました。要望があれば必要分を用意します。(その後希望自治会へ配布済み)

Q. 空き家の管理を行政でなんとかしてほしい。

A. 私有財産のため所有者のご理解を得なければ対応は難しい現状です。市でも関係部署で検討を行っています。方向性が決定するまで、環境・衛生に関しては区民生活課へ、道路管理・交通障害については建設課へご相談願います。

Q. 児童通学路(稲葉四つ角)の道路拡幅について進捗状況を確認したい。

A. 現況道路の東側に2メートルの歩道を新設する計画で地権者に説明しております

すが、現時点において用地未買収地があるため工事が着工できない状態です。今後とも継続して未買収地の交渉を行い、できるだけ早い整備を目指します。

Q. 砂岡地区にある、管理困難な土地改良排水路について、

A. 現地の確認を行いました。排水の滞留が生じている箇所は、バキューム清掃を行い、コンクリートによる勾配修正を実施します。水路両端部の雑草については、境界を確認の上、緊急性のある場所からコンクリートを打設し環境改善を図ります。

Q. 標高値表示の設置について、震災後、都市近辺で津波の対策として標高値の表示板、目印の設置が進んでいるように思われる。ここ江南区でも阿賀野川の決壊等を考えて、設置はできないものか。

A. 区内の各避難所の地盤高は、昨年度に全戸配布した「命を守る5のポイント」でお知らせしたところですが、江南区自治協議会提案事業「命を守るまち歩きプロジェクト」によって、地元コミ協・小学校・建設業協会が協働して、海拔表示板を区内小学校区ごとに設置し、平成24年度は、亀田西小学校区、早通小学校区、曾野木小学校区、丸山小学校区、大淵小学校区で実施しました。亀田東小学校区においては、平成25年度に実施することになっています。

Q. 排水路の消毒について

曙町地内の排水路に「うんか」が大量に発生する。大規模な排水路の消毒は自治会には負担が大き過ぎるので、市又は区で行うべきではないか。

A. 現在、区としては排水路の消毒は行っておらず、衛生害虫対策としましては、新潟市保健所とともに環境改善による害虫が発生しにくい環境づくりを目指し、幼虫対策



を基本として、人体や環境への影響の少ない薬剤の昆虫成長制御剤(IGR剤)の使用を推奨しています。

また、新潟市住みよい郷土推進協議会江南区支部では、加入自治会の衛生害虫対策の一助として、雨水樹への投入蚊駆除薬品として「スミラブ発泡錠」の配布のほか、排水路への投入蚊駆除薬品「スミラブ固形剤」の購入費補助を実施しております。

そのほか有効な手段として、排水路の清掃による害虫の発生しにくい環境づくりも挙げられます。自治会で清掃困難な場合は、汚泥の堆積状況によっては、区建設課で汚泥の浚渫を行う場合もありますので、担当の維持係に相談をお願いいたします。





東雲レンズでキャッチ

平成24年度に実施した様々なコミュニティ協議会活動のうち、レンズでキャッチしたいいくつかの場面をご紹介します。参加していただいた皆さんありがとうございました。



今回で4回目となった「東雲寄席」です。地元亀田の水都家艶笑師匠から口演いただきました。このイベントは毎回満員御礼となる盛況ぶりです。平日の午後開催にもかかわらず100名を超えるお客様を迎えて行われます。

口演に先立ち、亀田東小学校達校長（当時）より、亀田東小学校の整備に関する今後の説明を受けた後、お待ちかねの落語口演です。以前、PTA 研修でやったネタなどを含め約1時間半笑いに包まれた会となりました。

特別養護老人ホーム「かめだ本町の里ホール」を会場に薬剤師免許を持つチェリストの内田佳宏氏とピアニストの崔理英氏によるミニコンサートを開催しました。はじめに亀田中学校吹奏楽部生徒による演奏が行われ、その後、内田氏より医療現場での実体験や薬剤師としての視点から、音楽による健康増進・健康管理等についての講話と演奏が行われました。

ミニコンサート終了後は、中学生たちが施設入所者の移動を手伝うなど、介護現場をちょっぴり体験しました。



高齢者いきいき体操教室を10月2日・4日に実施しました。今回の会場は稲葉会館、袋津会館、伊夜日子会館、砂岡会館の4会場で行われ、延べ151名の参加がありました。

区役所健康福祉課より講師を招き、高齢者でも気軽にできる軽めの体操を体験した後は、恒例となっている茶話会です。お茶とお菓子を囲んでしばしのおしゃべりタイムは、体操以上に大切な時間のように、どの会場でも大変盛り上がったいきいき体操教室となりました。

コミュニティ協議会では様々な企画やイベントを実施しています。自分たちの住む地域を知ることを目的とした「東雲ハイキング」や、主に高齢者を対象とした「いきいき体操」、子供たちによる防災意識の啓発を目指した「防災ポスター・標語コンクール」。そのほか、落語を楽しむ「東雲寄席」や「おはよう朝ごはん」などなど…。お互い顔の見える関係づくりのためにも、是非皆さんご参加下さい。



写真で見るふるさとの歴史

私たちの亀田は、かつて市場町として開発され、今日では新潟市江南区の一員として発展を続けています。

ここでは、江南区郷土資料館が所有する懐かしい亀田の生活風景をご紹介します。



昭和 36 年 9 月の第二室戸台風に襲われた稲葉山。松林も大きな被害を受け、これを起因して山の取り崩しが始まったそうです。



船溜場は昭和 30 年頃まで舟が繋がれていましたが、昭和 32 年に埋め立てられて道路となりました。



大正末期から昭和初期に撮影されたとみられる、稲葉の若松踏切と亀田寺の松の様子です。



まちなかにあったマーケットです。現在は新潟信用金庫亀田支店となっています。



明治 40 年代の亀田本町通りの風景です。左手の煉瓦堀の一部は今も残っています。



日新染布株式会社は戦時下疎開のため現在の亀田東町地内で操業していました。昭和 30 年に工場は亀田を去りました。